横浜天声キリスト教会　週報　第15巻3号(No.519)　2020年1月19日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　イザヤ61:7 ・・・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13番 天には御使
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40番　輝く日を仰ぐとき
礼拝のための祈り ・・・・・・・成田エクレシア:朴執事　天声:小林 伝道師
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 393番　われらの戦い血によらず
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・ 主が支配しておられる時間的主権と空間的主権(エステル記5-6章)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78番　ここも神の
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

主はそのみ言葉に聞き従う事を喜ばれるように、燔祭や犠牲を喜ばれるであろうか。見よ、従うことは犠牲にまさり、聞くことは雄羊の脂肪にまさる。そむくことは占いの罪に等しく、強情は偶像礼拝の罪に等しいからである。(1サムエル記15:22-23)

死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。(黙示録2:10)

わたしが来る時まで、____の持っているものを堅く保っていなさい。勝利を得る____、わたしのわざを最後まで持ち続ける____には、諸国民を支配する権威を授ける。彼は鉄のつえをもって、ちょうど土の器を砕くように、彼らを治めるであろう。それは、わたし自身が父から権威を受けて治めるのと同様である。(黙示録2:25-27)

「わたしはサタンが電光のように天から落ちるのを見た。わたしは____に、へびやさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けた。だから、____に害をおよぼす者は全く無いであろう。しかし、霊があなたがたに服従することを喜ぶな。むしろ、____の名が天に記されている事を喜びなさい」。(ルカ10:18-20)

メッセージ概要

主から大きな恵みを頂き、主に大きく用いられる性質とは何か、エステル記から引き続き恵みを頂きたい。

エステルは、自分の国民の救済という大きな願いを携えて、命を賭けて王の前に進み出た時、王からは「国の半分でも与えよう」という答えを頂いた。にもかかわらず、「私が王さまのために設ける宴会にハマンとごいっしょにお越しください」と言って、あくまで王の喜びとなる事を願い出た。さらに、その宴会の時にも切実な訴えはせず、「私が設ける宴会に、ハマンとごいっしょに、もう一度お越しください」と言うのみだった。

傍から見ると、どうして、じれったい、と思われるかもしれない。しかし言葉には、言うべき時と、言ってはならぬ時とがある。神の視点では、その「時」ではなかったのだ。人の目には「どうして？」と見えても、主は、時間と空間を支配しておられる。そして主のタイミングは、完璧なのだ。エステルが願い事を申し上るのを、さらに一日ひき延ばした事によって、その晩、主は二つの出来事を起こし、主の時間的主権が動き出す。

ハマンは、エステルから王と一緒の宴会に招かれたゆえに、上機嫌で出て来た。ちょうどその時、モルデカイと会った。モルデカイは、彼を見ても敬礼せず、少しも恐れていないので、彼は憤りに満たされた。

彼は帰ると、友人や妻を呼び寄せ、彼の自慢話、すなわち、彼の富の栄華と、息子達の多い事、また、大臣や侍臣達にまさって王から重んじられている事を、とうとうと語った。『*しかしユダヤ人モルデカイが王の門に座しているのを見る間は、これらの事もわたしには楽しくない。*』(5:10-13)

彼は、王の権威を自由に行使できる程、昇進しており、輝かしい富を持ち、子供も多く、沢山祝福されている。なのに、たった一人の男、モルデカイの故に、その全てがかすんでしまった。私達も、主から多くの幸いを頂いているというのに、たった一人の言動によって、それら全てがかすんで、怒りで居ても立ってもいられない、とするなら、それはハマンに似た恥ずべき、滅ぼされるべき性質である。

モルデカイのように義を行って動じないなら、悪人にとっては、その存在が滅びの元となる。いかに悪人が子宝や昇進に恵まれ、幸いが100あっても、義人の1の義の行いによって飲み込まれてしまうのだ。

彼の妻や友人たちは、22mの柱を立て、そこにモルデカイをかける事を、王に進言してみては、と勧め、それをハマンは大いに気に入る。それでハマンは早速、この事を進言しに、王の所へ出て行く。深夜に。

以上が、ハマンが貶められ、モルデカイが引き上げられるための、重要な、一つ目の出来事である。この出来事だけで見るなら、モルデカイがますます危機に陥り、ハマンはますます栄えているかのように見えるが、実は、それが主による重要な布石だったのである。

その晩、もう一つの重要な出来事が起きる。それは、王はその晩眠れず、年代記を読み直した事だった。その年代記の中から、モルデカイがかつて為した功績が発見され、その事で、彼にはまだ何の昇進も栄誉も与えられていなかった事が分かった。せっかく良い事をしたのに、すぐに報いられず、忘れ去られてしまったのは、その時は災いに思えたかもしれない。しかし主のなさる事は、いつも時に適って美しいのだ。

王はモルデカイに、どのような栄誉を与えようかと思案している、ちょうどそのタイミングで、ハマンがモルデカイを吊るし上げるために、上奏しに来た。王はハマンが来たのを、丁度良い、とばかりに相談する。

「*王が栄誉を与えようと思う人にはどうしたらよかろうか。*」 ハマンは、てっきり自分に栄誉が与えられると思って、自分にして欲しい事を、申し述べた。彼は王服を着て、王の馬に乗りたかったのだ。しかしあいにく、王が栄誉与えようとしたのは、モルデカイで、その通り違わずに彼に実行せよ、との命令が下された。もはや彼の当初の願い、モルデカイを木にかけて殺そうなどとは、上奏できなくなってしまった。

主は、主の民の、悲しむ者には喜びの油を与え、灰に代えて冠を、憂いに代えて賛美の衣を与え、低くされている者を高く引き上げ、報われずにいた者には、報いられていなかった期間分を、倍にして報いられる。(イザヤ61;3,7)　主に依り頼んでいる人が、たとえ灰や荒布をまとっていても、主は、卑しめられている民をいつまでも放って置く事はしない。モルデカイがハマンの手によって王冠、王服が与えられ、栄誉の伝令で告げ広められたように、私達も、敵の面前で油注がれ、宴を設けられ、敵が蓄えた栄誉や富を、そのまま引き渡されるのだ。悪者は自分のために富を蓄えるが、実はそれは、御心に叶う人に渡すための積み立てで、主は、時間的主権をもって、時を準備しておられるのだ。(伝道者の書2:26)

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	賛美 10:30	礼拝 11:00
食事/フェローシップ		12:30～
English Service		14:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:30～

金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 15 巻 3 号　　2020 年 1 月 19 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@ yahoo.co.jp

YouTube